https://printo.it/pediatric-rheumatology/JP/intro

四肢痛症候群

版 2016

4.肢端紅痛症

4.1どんな病気ですか？

先端紅痛症とも呼ばれます。 この疾患名は３つのギリシャ語の言葉：赤、手足、痛みから成っています。極めて稀ですが、家族内で発症することもあります。殆どは10歳前後で症状が現れ、男子より女子の頻度が高いです。
温かく赤く腫れた足（まれに手）に灼熱感を訴えます。 症状は温まると悪化し、四肢を冷やすと軽快するので、足を氷のように冷たい水に漬けたままにしたがります。熱や活発な運動を避けるのが、最も有用なコントロール方法のようです。
痛みを和らげるために、抗炎症薬、鎮痛薬、血液循環を改善する薬(血管拡張薬)など、多種類の薬が使われており、医師はそれぞれの患児に最適な薬を処方します。